

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	12-6
PDCA	主要事業名		中心市街地活性化支援事業		部課名		市民経済部産業課			担当	片山
										内線	321
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 4 単位施策： 商工業										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 3,913 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 06.01.02.07.56				
	事業概要等		事業概要： 半田商工会議所まちづくり推進室のコーディネートの下、公共空間を活用し、事業者の自立的な活動により日常的で持続可能な中心市街地商業活性化を目指す。								
			事業目的： 中心市街地を社会的、経済的及び文化的活動の拠点とし、魅力ある市街地とする。								
			事業内容： 中心市街地商業活性化にぎわい事業補助金及び中心市街地まちづくり支援事業補助金を交付する。								
			問題点・課題等： 知多半田駅前とは土地区画整理事業によりハード面は整ったものの、人の通行量が少な 題等： く駐車場利用が目立つ。								
	予算額		主要事業とする理由								
	3,913 千円		中心市街地は本市の「顔」であり、市民や来訪者に親しまれ、魅力ある市街地にする必要があるため。								
	財源内訳		得られる成果								
	市費		半田駅前・半田運河周辺のまちづくりと連携しながら知多半田駅前エリアの魅力向上の取組みを増やすことで、市内外の関係人口が増え、商業活性化に繋げることができる。								
	964 千円										
	国費										
	949 千円										
県費											
1,000 千円											
その他											
1,000 千円											
D 実績 得られた成果と	決算額		得られた成果								
	3,686 千円		中心市街地において事業者等によるイベントを企画実施したことで、多くの人が集まるきっかけとなり、駅前の魅力に触れていただく機会や賑わいの創出につながった。 また、高校生と協働し、商店街店舗の撮影・動画投稿を実施したことで、商店街PRにつながった。								
			成果指標							令和4年度	単位
			名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口（平日）		実績値		6,917		人／日		
					目標値		8,400		人／日		
			名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口（休日）		実績値		6,748		人／日		
					目標値		8,800		人／日		
C 課題の整理	事業の評価・課題		C 商工会議所まちづくり推進室と連携し、チャレンジショップ事業の実施や、商店街等が実施する地域賑わいイベントの後方支援、知多半田駅ロータリーなどの公共空間を活用した賑わい創出の取組を行ったことで、中心市街地の商店街への集客や店舗を知っていただく機会を創出できた。また、若年層を巻きこんだ取組を行ったことで、若年層に中心市街地の商店街を知っていただく機会となった。								
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		改善推進 市長特任顧問を登用したことによる中心市街地の活性化に向けたエリアビジョンを基に、引き続き名鉄知多半田駅～JR半田駅～半田運河の区域を中心に活気づけていく仕掛けを、ハード及びソフトの両側面から、官民連携で推進していく。また、若年層を巻きこんだ活性化の取組についても検討を進めていく。								
	観点別評価		必要性		有効性				効率性		
			①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 大きい		⑦コスト削減 あり		ある		
			②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 あり		⑧受益者負担適正化余地		※手段の変更		
			③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない				ない		

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用